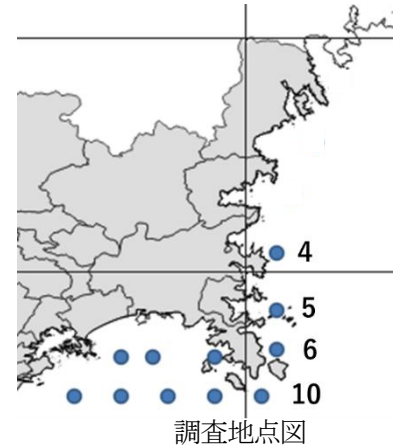


令和6年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.1)

令和6年4月9日
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和6年4月5日
- 2 調査地点 右図の4定点(St. 4, 5, 6及び10)
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)
 - 1) 水温: 表層で13.3~15.9℃の範囲にありました。
 - 2) 貝毒原因プランクトン出現数
 - ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) が0~10細胞/L 確認されました。
 - ・下痢性貝毒原因プランクトン, *Dinophysis fortii*は確認されず、*D. acuminata*が0~10細胞/L 確認されました。



調査結果表(4定点)

St.	日時 水深 (m)	透明度 (m)	表面水温 (°C)	貝毒プランクトン出現数 (細胞/L)							
				<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	
				4月5日	-	4月5日	-	4月5日	-	4月5日	備考
4	10:16 (85)	8.0	13.5	0	-	0	-	0	-	0	
5	9:32 (31)	7.0	13.3	0	-	0	-	0	-	0	
6	8:39 (66)	9.0	13.8	0	-	0	-	0	-	0	
10	12:02 (85)	12.0	15.9	10	-	0	-	10	-	0	

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水